

千葉県知事 熊谷 俊人 様

2023年3月24日

イオンリテール株式会社
南関東カンパニー支社長
宇治 知英

ちばSSKプロジェクト令和5年度 取組計画

企業概要

商号：イオンリテール株式会社
発足日：2008年8月21日発足
本社所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1
代表者：代表取締役社長 井出 武美
資本金：1億
事業内容：総合小売業

店舗数：350店舗(2022年2月末現在)
従業員数：73,936人(2022年2月末現在)

事業所名：南関東カンパニー
所在地：神奈川県横浜市神奈川区富家町1丁目1番
代表者：取締役 常務執行役員 南関東カンパニー支社長 宇治 知英

目的

世帯人口の高齢化に対し、県として進めている「ちばSSKプロジェクト」と連動し、社会貢献活動の一環として以下の項目について取組む。

I. 見守り取組計画

千葉県内の「イオンネットスーパー」「イオンの即日便」の配送業務を通じて、注文顧客が長時間不在 不審の場合の確認を実施。「ちばSSKプロジェクト」と連動し、社会貢献活動の一環として取組み。

ネットスーパー対象エリア実施地域については県内15店舗から千葉県全域の配送エリア。

高齢者ニーズの高いFAX、電話注文によるお届け「とどくんです」も拡大。

千葉全域での見守りサービスとして取組み。

移動販売については、海浜幕張、鎌取、大網白里、高根木戸、船橋の5店舗に加え、令和4年

4月から新店・旭中央でも実施。

また、船橋エリアについては見守り協定を締結。

II. 「ちばSSKプロジェクト」 普及啓発の取組計画

ちばSSKプロジェクトのロゴが印刷されたご案内の配布 チラシへの掲載。

III. 認知症対策への取組計画

イオンは新店開店 店舗改装などのさまざまな機会を利用して「認知症サポーター養成講座」を店舗、事務所などで実施し認知症サポーターを養成。

現在認知症サポーター数は令和4年2月時点 81,701名。

令和5年度も継続して「認知症サポーター養成講座」を実施するとともに、千葉市、企業、イオンの3者で「認知症啓蒙活動」を計画。

- アルツハイマー月間である9月に認知症啓発イベント『認知症を理解しよう』の開催。

イオンモール幕張新都心にて、毎年開催の恒例企画として育成するイベントと位置づけ。

令和5年は9月3日（日）に開催予定。昨年同様に体験型コンテンツとして、脳活動測定、うずまきテスト、血管年齢測定など充実した内容で開催。また、ご本人が認知症を公表されているタレント、蛭子能収さんトークショーも昨年に引き続き開催予定。

IV. 高齢者のいきがい、健康、仲間作りの取組計画

イオンスタイル鎌取、イオンマリンピア店、イオン稲毛店 イオンスタイル検見川浜店 等千葉県内のGG店舗にて、健康イベント、食に関するイベント等実施し高齢者のいきがい、健康、仲間作りの応援企画を計画。

- イオンスタイル鎌取（ゆみ～る鎌取）にて、「健康イベント」を定例化。

偶数月15日は『からだ元気アップの日』として、歩く能力など各種測定。

千葉市（緑区）×医療機関×イオンの連携企画。

- シニア向け「生きがいづくりサポート・出張相談窓口」の定例開催。

幕張新都心、マリンピア、鎌取の3店舗で 各店舗毎月1～2回窓口を開設。

主催は千葉市生涯現役応援センター 及び 千葉市シルバー人材センター。

V. 高齢者の安心、安全の取組計画

千葉県警察署の交通安全、振り込め詐欺防止等に関するキャンペーン、店内放送による啓発など千葉県内店舗は今後も協力して取り組んでまいります。

VI. イオンリテール本社に「シニア事業プロジェクトチーム」新たに発足

シニアケアに関する悩みや課題の解決を目指すプラットフォームを提供する新規事業。

要介護者とケアラーが直面する課題として「運動機能」「口腔機能」「食支援」「認知機能」「人生の楽しみ」等をテーマに、令和5年度はECサイトを立ち上げ。

千葉市（地域包括ケア推進課、健康推進課、高齢福祉課）や柏市とも連携。

6月8日（木）～11日（日）イオンモール幕張新都心にてキックオフイベント開催。

以上